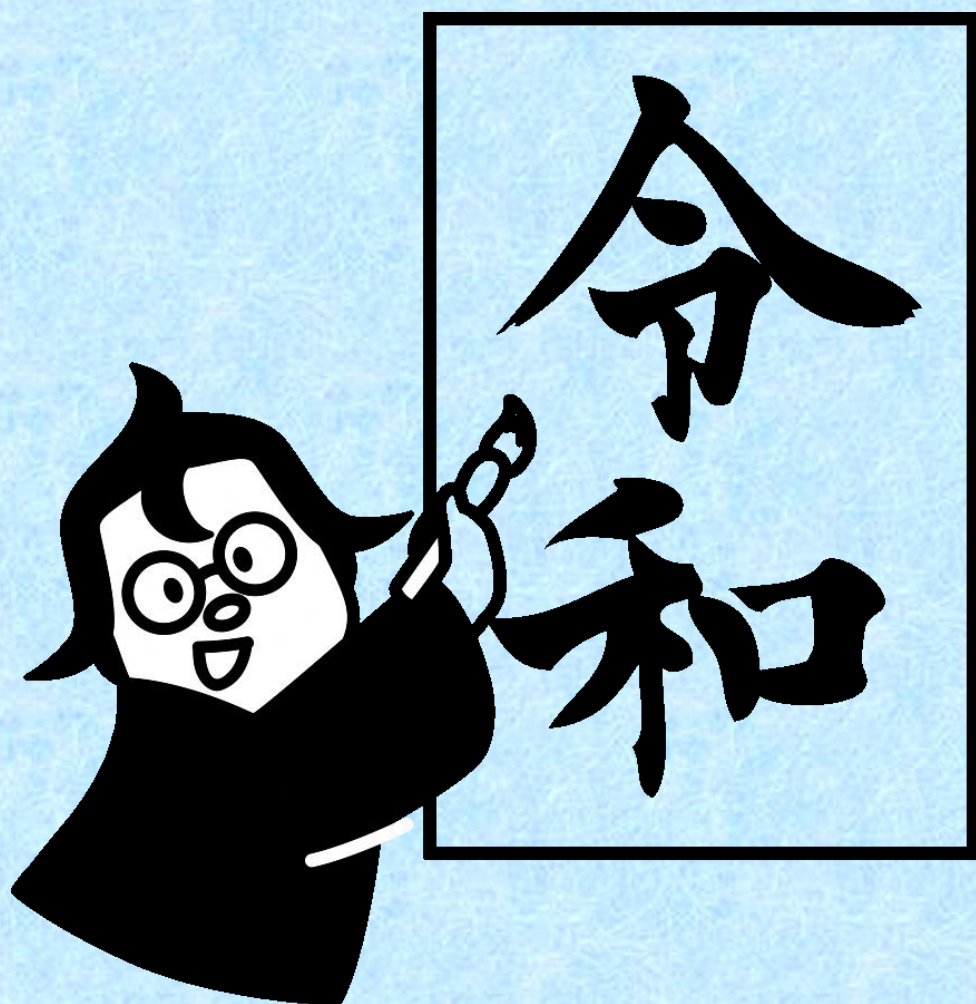


令和三年度
こども未来会議室
報告書



もくじ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1

こども未来会議室の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 1

市民団体の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 4

皆さんからの提案と市の回答・・・・・・・・ P. 5

1. 学校環境の改善・・・・・・・・ P. 5

2. 道路や通学路の整備・・・・・・・・ P. 7

3. 若者が楽しめるまちに・・・・・・・・ P. 12

4. もっと住みやすいまちに・・・・・・・・ P. 14

5. 船橋をもっと盛り上げよう・・・・・・・・ P. 22

実現した主な提案・・・・・・・・ P. 33

本番の様子・・・・・・・・ P. 35

はじめに



平成26年度に始まった「こども未来会議室」は、今回で7回目を迎えました。

「こども未来会議室」の事前学習で素晴らしい提案を考えてくれた中学2年生の皆さん、また、夏休みの貴重な時間に各校の代表として「こども未来会議室」に参加してくれた皆さん、本当にありがとうございました。

今回の提案は、世界的にも注目されているSDGsの視点にたった提案が多くあった事にとっても驚いたと同時に、これからの時代を担う皆さんから、船橋の未来を真剣に思う提案がされた事を嬉しく、また、頼もしく感じています。今回の提案も、どれも新鮮で素晴らしいものばかりでした。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止となりましたが、今年度は、感染対策を行いながら開催することができました。本事業にご理解をいただきご協力をいただいた各校の先生方、保護者の皆様、そして、1回目から企画と運営に携わっていただいている市民団体の皆様にも、心からお礼を申し上げます。

皆さんからいただいた素晴らしい提案に対して、市としてどのようなことができるのか、市役所の部署のみではなく、関係する様々な団体の方とも真剣に協議を重ねて、この報告書を作成しました。

実現できるかどうか話し合いを続けていく提案や、実現に長い時間がかかる提案もありますが、皆さんの熱い思いはしっかり届いています。ぜひ読んでいただければ幸いです。

中学生の皆さん素晴らしい提案をありがとう！

船橋市長 松戸 徹

こども未来会議室の概要

1. 名称

こども未来会議室 ～船橋の未来に“たね”をまこう～

2. 目的・運営

子供たちと市長が船橋の将来を語り合う場「こども未来会議室」は、船橋市の現状を子供たちに伝え、まちづくりを意識してもらいながら、将来を見据えた意見交換をすることで、子供たちの視点を活かした市政運営につなげていくことを目的として開催しました。

「こども未来会議室」の企画及び運営は、4つの市民団体（さざんか募金運動推進協議会、船橋商工会議所青年部、船橋法人会青年部会、船橋青年会議所）と市役所の若手職員で立ち上げた「こども未来会議室プロジェクト」が行いました。

3. 対象学校・対象学年・参加人数

対象学校：市内28中学校（市立27校、私立1校）及び県立船橋夏見特別支援学校

対象学年：2年生

参加人数：各校2名

4. 事前学習

「こども未来会議室」の開催前に市立中学校全27校で実施した事前学習は、2年生全員が参加し、船橋市の良いところや問題点などについて話し合いが行われました。

この事前学習では、一人ひとりが船橋の将来についてしっかりと考え、船橋市民であることを自覚し、地域の発展にかかわる意欲を持ってもらうことができました。



高根台中の事前学習



葛飾中の事前学習



湊中の事前学習

5. 実施内容

第1部 テーマに沿った意見発表

「こども未来会議室」のテーマ【「私たちが市長になったら〇〇します！」～魅力あるまち船橋へ～】について、事前学習でまとめた意見を、各校の代表となった2名の生徒が市長に向けて発表しました。

学校ごとに工夫を凝らし、「昼寝を導入します！」「制服を自由に選べるようにします！」といった学校生活に関係する提案のほか、「通学路を整備します！」「中高生が遊べる施設を増やします！」といった日常生活に関係する提案や、「特産物をPRします！」「船橋市案内アプリを作ります！」「規格外野菜を有効活用します！」といった地元愛にあふれた提案など、様々な提案が市長に伝えられました。

また、今年度は環境問題やLGBTQなど、SDGsに関連した提案も多くありました。

発表後は各校で意見交換を行い、市長から、提案一つひとつに対して市の現状や今後の取り組みなどについて丁寧に説明がありました。



第2部 市長室見学ツアー

市長室では、市長から、市長室全体の案内や仕事内容、市の様々なことを決定する「決裁」に関する説明などがありました。その後、市長の椅子に座り、市長、船えもん、ばか面と一緒に記念撮影をしました。

代表生徒の皆さんは、市長の説明に熱心に耳を傾けており、市職員でもなかなか入ることのない市長室に興味津々の様子でした。



6. 開催日時

様々な地域の生徒と意見交換ができるよう地域を混合し、4回に分けて開催しました。

■開催時間 13:00～16:30

■開催場所：船橋市職員研修所 / 市役所9階市長室

開催日	第1回	第2回	第3回	第4回
	8月2日（月）	8月3日（火）	8月5日（木）	8月6日（金）
参加校	湊中	海神中	宮本中	船橋中
	葛飾中	行田中	旭中	若松中
	法田中	飯山満中	高根中	二宮中
	御滝中	三田中	八木が谷中	七林中
	芝山中	古和釜中	金杉台中	三山中
	習志野台中	大穴中	前原中	高根台中
	豊富中	小室中	（私立）千葉日本 大学第一中	坪井中
	県立船橋夏見 特別支援学校			
学校数：計29校	8校	7校	7校	7校
生徒数：計58名	16名	14名	14名	14名



第1回 集合写真



第2回 集合写真



第3回 集合写真



第4回 集合写真

市民団体の紹介

「こども未来会議室」の開催にあたり、
企画から運営まで携わっていただいた
4つの市民団体を紹介します！

さざんか募金運動推進協議会

JR・東武アーバンパークライン船橋駅コンコースにシンボル像「さっちゃん像」があり、皆さんの待ち合わせスポットとして活用されていて、実は募金箱になっています。募金は主に、青少年健全育成のための事業などへの資金援助や、母子・父子家庭の高校生・障害児のための奨学金の給付などに使われています。



船橋商工会議所青年部

船橋商工会議所青年部（船橋YEG）は、次代の地域経済を担う後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質向上と日本全国の商工会議所との交流や国際研修事業などを通じ、己の企業の発展と豊かな地域経済社会を築くことを目的としており、各委員会にて様々な事業を展開しています。

私たちは、船橋が本当に好きで、明るい豊かなまちにしたいと考える団体です。

※YEG（若き起業家集団）とは、商工会議所青年部の英語名（Young Entrepreneurs Group）の頭文字をとったもので、商工会議所青年部の持つコンセプト（若さ、情熱、広い視野）を持った経営者＝Youth, Energy, Generalist を表しています。



船橋法人会青年部会

会社を経営するために、切っても切り離せないのが納税です。法人会は、全国に約100万社の会員企業があり、「税」をキーワードに健全な会社経営、経営者育成を目指し、研修会や専門的勉強会、親睦会など税務署や関係諸団体の協力を得て、様々な事業やイベントを開催しています。

その中でも青年部会は、50歳までの経営者や次世代の企業経営者になる若者に、更なるステップアップや、仲間を増やし友情を育むことを目的に掲げて、地域の発展と企業の繁栄を目指し活動している団体です。



船橋青年会議所

船橋青年会議所は、20歳から40歳までの青年が明るい豊かな社会の実現を理想とし、「修練」「奉仕」「友情」の3つの信条のもと、よりよい社会づくりを目指し、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいる団体です。

また、国際的な組織でもあり、世界125か国に17万人を超える会員がおり、日本では全国47都道府県698の地域に約3万6千人の会員がいます。40歳で卒業となりますが、卒業されたOBは世界で250万人以上おり、元米国大統領のビル・クリントンさんやマイクロソフト創業者のビル・ゲイツさんなども所属していました。日本では、元内閣総理大臣の小泉純一郎さん、その息子である小泉進次郎さんなども現役で活動しています。

船橋青年会議所では、次代の社会の担い手、推進力として明るい豊かなまちづくりの実現のために、市民運動の先頭に立って活動しています。



皆さんからの提案と市の回答

1. 学校環境の改善

昼寝を導入します！【湊中】

昼寝をすることで、集中力の向上やストレスの軽減、作業効率がアップするという NASA の研究結果があります。午後の5～6時間目に眠くなるのは、給食後の血糖値上昇と、昼と夜中の2～4時に眠気のピークが来るように体内時計が設定されているため仕方がないそうです。業務効率化のために昼寝を実施している企業もあり、学校でも午後の授業に集中するために導入したいという提案でした。

＜市の回答＞

発表にもあるとおり、昼寝の効果に関しては多くの実証結果があり、現に湊中以外にも、全国に昼寝を導入した学校がありますが、昼食後の休憩時間に関しては、それぞれの学校で有効な活用の仕方をされていると思いますので、市内一律で昼寝を導入することは難しいと考えます。

しかし、授業に集中できる環境作りに向け、学校の実態に応じて「昼寝」の導入が可能であればまずは生徒会が中心となって先生と相談して試しに実施してみましょ。そのうえで、先生や生徒からの意見を聞いたうえで本格的に導入できるか検討していけると思います。

自由に制服を選べるようにします！【習志野台中・七林中】

「LGBTQ」への悩みを抱えている方は多く、男女差をなくした制服を導入することで、本当の自分を隠さず自由に学校生活を送ることができ、制服を通じて差別や偏見を減らし、理解を深めることができるという提案でした。

＜市の回答＞

制服をどのようなデザインにするかについては、各校で制服の意義や経緯などを踏まえて決めており、実際に市内でも、LGBTQの観点から女子用のスラックスを選択できるようになっている中学校もあります。

各校の制服（標準服）の範囲内で自由に選択することは、学校と相談のうえで可能であると考えますので、希望がある場合には先生にぜひ相談してください。

これから、学校生活や私生活でLGBTQに関わったり考えたりすることがたくさんあると思います。まずは、LGBTQについて皆さんが理解を深めることや、制服について考える意識を高めていくことが大切ですので、生徒会で取り上げるなど、生徒会を中心にLGBTQについて理解を深める活動を進めてみてください。

生徒が過ごしやすい教室・学校づくりを！〔三山中〕

タブレットが配られて便利になった反面、タブレットをしまうために机やロッカーのスペースが狭くなり、教科書などが収まらなくなってしまったので、机やロッカーを大きくしたい。また、新型コロナウイルス感染症対策で手を洗う機会が増え、水道の数が足りなくなっているので増やしたいという提案でした。

<市の回答>

市内中学校の机やロッカーは、仕様を統一して整備しています。机サイズについて、市内中学校に意見を聞いたところ、教室のスペースが狭くなるため、机サイズの拡大を希望しない学校が多くありました。そういった意見から、今のところ机とロッカーのサイズを大きくする計画はありませんが、各校の学級人数が減少した時には検討したいと考えています。

ただ、現状の机やロッカーでは、荷物置きとして不足している学校が多くあることは認識しています。学校と連絡を取り合いながら、不用品の廃棄や備品などの整理を促し、荷物を置けるスペースが校内で確保できるように努めていきたいと思います。

また、水道の数についての明確な基準はありませんが、三山中の場合、昭和56年に開校した頃の最大生徒数約800人に対して計画し、各階に設置されているので、現在の生徒数275人に対して不足はないと考えています。

現在の状況を三山中に確認したところ、学年毎に使用する廊下手洗いの場所が決められていて、4階の1年生が2階まで移動が必要な状況とのことです。感染症予防面の必要性も踏まえて、適切な利用方法を中学校と検討していきたいと思います。

みんな、手洗いは正しく
しっかりしようね！



2. 道路や通学路の整備

通学路を整備します！〔芝山中・豊富中・県立船橋夏見特別支援学校・海神中・金杉台中〕

ガードレールがない、歩道が狭い、交通量が多い、信号が少ない、街灯が少ない、白線が消えかけているなど、市内には危険な通学路が多くあるので、事故が起きる前に整備したいという提案でした。

＜市の回答＞

今回、最も多かったこの提案は、令和3年6月に千葉県八街市で起きた、下校中の小学生の列に飲酒運転のトラックが衝突するという痛ましい事故があったからだと思います。このような事故が起きないように道路整備することはとても大切なことです。

市では、皆さんが安全に安心して登下校できるように、令和3年7月15日から8月6日の期間に、学校、県、警察などと合同に市内全ての通学路の緊急合同点検を行ったところ、対策が必要な通学路が134か所ありました。

点検を受け、横断歩道や路面標示の塗り直しや、道幅の関係でガードレールが設置できない歩道が狭いところをグリーンカラーに塗装するなどの対策を、令和4年2月中に完了させる予定です。

街灯

まちを明るく照らしている街灯は、用途によって3種類あります。

①道路の安全のための「道路灯」

市内の主要な道路や公共施設に面した道路などにあり、交通事故などを減らす役割がある道路灯は、市内に約2,400基あり、市が設置しています。

過去の「こども未来会議室」で“船橋のまちを明るくしてほしい”との提案を受け、「道路照明灯設置に関するプロジェクトチーム」を設置して、平成27年に「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定し、道路照明灯・道路街路灯の設置に関するルール作りを行い、夜間交通の安全性向上を図っています。

普段生活している中で、危険や不安とを感じる箇所がありましたら、現地調査を行ったうえで必要性について検討していきますので、市に相談してください。

②商店街を明るく照らす「商店街街路灯」

商店街にある照明は、明るい魅力ある商店街環境を作り、商店街の販売促進と買い物客の利便を図るために商店会が設置しています。市では、商店街街路灯の電球交換や整備を行う際に補助金を交付しています。

③街の防犯のための「防犯灯」

犯罪を未然に防ぎ、より安全なまちにするうえで大変重要な役割を果たしている防犯灯は、現在市内に約41,600灯設置されていますが、その設置や維持管理は、地域の状況をよく知っている町会・自治会が行っており、市では補助金を出してその活動を支援しています。

信号機

信号機の設置は、千葉県警察を管理するための組織である千葉県公安委員会が行っています。

設置には、市内にある船橋警察署や船橋東警察署を通じて要望することになりますが、市からも要望を伝えられますので、気になる場所があれば市に相談してください。

自転車専用レーン

市では、道路の幅により「自転車レーン型」と「車道混在型」の整備をし、自転車が走る場所がわかるように整備しています。平成27年3月に策定した「船橋市自転車走行環境整備計画」では、路肩が広く自転車レーン型の整備が可能な路線として12km、路肩に自転車マークと矢印マークの整備ができる路線として26km、その他自転車ネットワークの補完路線として24km、合わせて約62kmを整備する計画になっています。

令和2年度末時点で、整備済みは25.6km、整備率は41.0%であり、今後も計画に基づき順次整備を行っていきます。

ガードレール

ガードレールについては街灯と同じように、普段生活している中で、危険や不安と感じる箇所がありましたら、現地調査を行ったうえで必要性について検討しますので、市に相談してください。

しかし、道路にガードレールを設置するためには、歩行者スペースを含め一定以上の道路の幅が必要となり、道路を広げるためには、道路沿いの住民の方に用地を提供してくれるように協力を求めなければならず、すぐには対応が難しい場合があります。

そのため、市では毎年、小学校、地域の方、市で安全点検を年10校程度順番に実施して、広げることができない場合でも、歩行空間を明らかにするため、道路に赤いゴム製のポールを立てたり、緑色の帯状のカラー舗装をするなどの安全対策を行っています。

道路

道路を広げる整備は、主に都市計画道路（※1）などの交通量の多い幹線道路（※2）のほか、道が狭いにもかかわらず交通量が多い危険な道路でも行っています。

例えば、県民の森付近では現在、ふなばしメグspaの南側の道路が近隣市への抜け道となっていて交通量が多いため、地元の要望を受けて道路を広げています。

整備までには時間がかかりますが、町会・自治会などから道路を広げる要望があった際には、現地を調査し整備を検討していきます。

（※1）都市計画道路・・・安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、計画的なまちづくりの一環として整備する道路

（※2）幹線道路・・・国道や県道などの主要な地点を結ぶ、市内の骨格的な道路

<通学路の安全に関するお問い合わせ先>

道路部 道路計画課 TEL：047-436-2563

E-mail：dorokeikaku@city.funabashi.lg.jp

道路標識などを改善して交通事故をなくします！【二宮中・金杉台中・小室中】

船橋市は2020年の交通事故数が千葉県内4位と多く、交通事故をなくすために、危険な箇所をなくしたり、交通安全への意識を高める取り組みをしたいという提案でした。

具体的には、

- ・交通安全への意識を高めるために公共施設に事故防止の啓発ポスターを掲示する
- ・学校で交通ルールに関する授業を年に1回以上実施する
- ・道路標識が樹木などで隠れないように、標識の形状をオーバーハング式に変更する
- ・標識の下にも、自転車に乗っている人の目線にくる位置にサブプレートを設置する
- ・危険だと思うところについてのアンケートを行う



オーバーハング式

<市の回答>

交通安全

市では、春と秋の全国交通安全運動を中心に、街頭キャンペーンやパンフレット・ポスター・懸垂幕・広報などによるPRなど、様々な交通安全啓発活動を、警察署をはじめとする関係機関と協力して行うとともに、交通ルールやマナーを身につけるための交通安全教室を実施しています。

具体的には、小学1年生には歩行の交通安全教室、4年生には自転車の交通安全教室、中学の3年間では、スタントマンによるリアルな交通事故再現を取り入れたスクアード・ストレイト自転車交通安全教室を実施するなど、学校教育活動を通じて、歩行者、自転車利用者として必要な知識と技能を習得できるよう、交通安全教育を推進しています。

交通ルールの再確認については、各校の実情に応じ、計画的組織的に指導を行っていることから、全学校一律に特定の授業で行うのは難しいですが、交通安全教室の中で、交通ルールに関する指導や教材の配付ができるかどうか検討していきます。

また、交通事故による死傷者数を限りなくゼロに近づけ、「安全で安心して暮らせる船橋市」を達成することを目標に、令和3年9月に「第11次船橋市交通安全計画」を策定しました。今後、目標の達成に向けて、6つの視点（※1）と5つの柱（※2）を重視して計画した様々な施策を効果的に推進していきます。

なお、交通事故を防止するには、市民一人ひとりが交通安全に対する意識と行動が大切ですので、皆さんもご協力をお願いします。

（※1）6つの視点・・・①高齢者・子供の安全確保

- ②歩行者・自転車の安全確保と運転者の遵法意識の向上
- ③生活道路・幹線道路における安全確保
- ④地域が一体となった交通安全対策の推進
- ⑤交通実態を踏まえたきめ細やかな対策の推進
- ⑥先進技術の活用推進

（※2）5つの柱・・・①市民一人ひとりの交通安全意識の醸成

- ②道路交通環境の整備
- ③道路交通秩序の維持
- ④救急・救助体制の整備
- ⑤被害者支援の充実と推進

道路標識

道路標識のデザインや大きさは国の法律などで定められているため、サブプレートの設置など改良や追記ができません。もし、わかりづらい標識がありましたら、市からもその道路標識を管理している警察や国道や県道を管理している国や県に要望することとなります。市からも要望を伝えられますので、気になる場所があれば相談してください。

また、木が覆いかぶさって見えづらい標識がありましたら、現地調査を行い、市所有の樹木であれば剪定^{せんてい}を行い見やすくします。それ以外の個人などが所有している樹木であれば、改善するよう所有者に協力をお願いしますので、市に相談してください。

<通学路の安全、国道や県道への要望に関するお問い合わせ先>

道路部 道路計画課 TEL：047-436-2563

E-mail：doroikeikaku@city.funabashi.lg.jp

<道路にはみ出た樹木などに関するお問い合わせ先>

道路部 道路維持課 TEL：047-436-3222

E-mail：doroiji@city.funabashi.lg.jp

市民アンケート

市では、市民の皆さんが市のことをどのように感じているかなどを把握して、市民の声を市政に反映させるために、毎年3,000人の市民を無作為に選んで行う「市民意識調査」や、毎年300人の市民の皆さんにお願いして「市政モニターアンケート」を行っています。

これまでも、自由記載欄では「道路が狭いので広げてほしい」、「渋滞をなくしてほしい」、「道路が傷んでいるので直してほしい」といった意見が寄せられることがありましたが、具体的な場所が特定できず、対応が難しい意見が多くありました。

今回の提案を受けて、「危険だと思うところはあるか」といった、具体的な場所が記入できる質問を追加するなど、市民の皆さんが普段感じている危険な箇所を把握できるよう検討していきます。



交通安全教室の様子



誰にでも安心・安全で段差の少ない歩道をつくれます！【県立船橋夏見特別支援学校】

普段、車いすや杖を使っていると、少しの段差でも危険な思いをしたり、道によっては通れないこともあります。子供連れの方や高齢者の方、肢体不自由の方や目の不自由な方も、道幅が狭いと困ることがあるので、歩道を広げて段差をなくしたい。また、歩道にある放置自転車が邪魔になっているので、放置しないような看板を設置したいという提案でした。

<市の回答>

歩道の段差解消

市内の道路には、市が管理する市道のほかに、国や県が管理する国道や県道があります。

国道や県道については、それぞれ管理している国、県に要望することになりますので、気になる場所があれば相談してください。

歩道を広げる整備は、道路の整備と同じように主に都市計画道路などの交通量の多い幹線道路で行っており、整備までには時間がかかりますが、今後も歩行者が安心して通行できるよう、順次広げる整備を行っていきます。

また、歩道の段差についても順次整備をしています。気になる箇所がありましたら、現地を調査して必要な箇所について改善しますので、市に相談してください。

放置自転車

船橋駅など駅周辺の区域は自転車などの放置を禁止する道路などを指定しており、それを周知する看板を設置していますが、令和2年度からその看板をわかりやすいように設置場所やデザインを見直しています。

また、看板設置に加え、自転車などの放置を注意する街頭指導員を配置したり、放置自転車を撤去するなど、放置自転車が無い歩行空間の確保に努めています。年々、放置する自転車が減りつつありますが、無くなるまでには至っていません。今後は、街頭指導員の配置や自転車の撤去を、放置の多い場所で集中的にやるなど、今実施している対策を更に強化していきます。

<国道や県道への要望に関する市のお問合せ先>

道路部 道路計画課 TEL：047-436-2563

E-mail：doroikeikaku@city.funabashi.lg.jp

<歩道の修繕に関するお問い合わせ先>

道路部 道路維持課 TEL：047-436-3222

E-mail：doroiiji@city.funabashi.lg.jp

<歩道の整備に関するお問い合わせ先>

道路部 道路建設課 TEL：047-436-2594

E-mail：dorokensetsu@city.funabashi.lg.jp



放置自転車禁止区域
の看板

3. 若者が楽しめるまちに

中高生が遊べる施設を作ります！【飯山満中】

「ふなばしアンデルセン公園」や「ららぽーとTOKYO-BAY」などにある娯楽施設は、12歳以下がメインターゲットで中高生では楽しめないため、トランポリンができる場所やプロジェクションマッピングを使ったゲーム、VRを体験できる場所など、中高生が楽しめる施設を作りたいという提案でした。

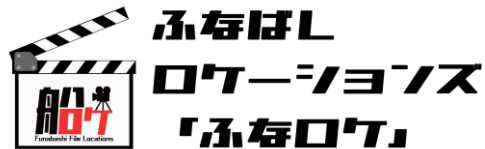
＜市の回答＞

アクティビティーを楽しむ施設はとても魅力的ですが、市が運営する施設をつくるということは、税金で運営していくことになります。実現するためには、赤字にならないか、何十年も皆さんが使ってくれるかなど、事業として成り立つのか十分な検討が必要です。何よりも、市民の皆さんからの理解を得る必要があります。

また、経済と観光の視点で考えると、市の魅力や知名度を更にアップさせるイベントの開催や周知を、より幅広い年代に向けてPRすることで、たくさんの人に船橋の魅力が伝わり、訪れてもらえるようにする仕組み作りが大切だと考えます。

そのため、市が行うPR事業の一つとして、船橋市観光協会と協力して行うマイクロツーリズム（地元や近隣への短距離観光）のツアーでは、市内の観光スポットを組み合わせ、地域の魅力を再発見できる小さな旅を楽しんでいただいています。

さらに、市では映画やドラマのロケ地を紹介し、撮影をサポートしており、実際に撮影に使われた市内のロケ地を巡る日帰りバスツアーを、船橋市観光協会が令和4年度に計画しています。



市としては、少子高齢化や今後迎える人口減少などを踏まえ、多くのお金をかけて新たな施設をつくるのではなく、既存施設を有効に活用していくことが重要と考えています。

例えば、市内に21ある児童ホームは、18歳未満の児童が誰でも自由に遊べる施設で中高生も利用対象ですが、乳幼児親子や小学生など、利用する年代が幅広く、それぞれの要望にあわせて施設の改修をすることは難しいです。また、現在、体育室を区切って、ボール遊びやおもちゃで遊ぶコーナーを設けるなど年齢別に区分した運営を行っています。そのため、スペースが限られ、提供できる遊びに制限がありますが、中高生も利用する施設であるので、今回の意見を踏まえ、中高生も楽しめる運営に努めていきます。

船橋市若者応援プロジェクト！～中・高・大学生と交流して楽しく学ぼう～【大穴中】

高校生や大学生の先輩から、これから経験する受験や高校生活に関する情報や、部活のアドバイスをしてほしいと思い、市内に住む高校生や大学生との交流会をしたいという提案でした。

<市の回答>

運動部活動では、市立高校を中心に多くの高校の運動部が、中学生との合同練習や練習試合を行い、中学生との交流を図っております。共に練習や試合をすることで、中学生が高校の活動内容を知ることができ、高校と中学の違いを理解したり、技術指導をしてもらったりすることにつながっています。船橋市小中学校体育連盟の各専門部には、多くの高校との合同練習や練習試合の情報が入ってきております。高校との合同練習で行われた練習メニューや練習試合の結果などの具体的な情報を、船橋市教育委員会と船橋市小中学校体育連盟専門部が協力してとりまとめ、市内中学校に提供することで、高校生との合同練習や練習試合が、中学生にとってより身近なものになるよう、周知していきます。

文化部活動では、市立高校の吹奏楽部の部員が、楽器演奏の技術向上や小中高生との交流を行うため、市内の小中学校の音楽系部活動と市立高校の多目的ホールで、合同練習を行っています。合同練習では、小中学生と高校生がお互いの演奏を聴き合ったり、一緒に同じ曲を合奏したり、楽器の種類ごとに別れてパート練習を行っていることなどを千葉県教育研究会船橋支会などで市内の小中学校に広く周知していきます。

受験などに関するアドバイスについては、中学校のキャリア教育の一環として、複数の卒業生を進路集会などに招き、高校生活や受験の経験談など、卒業生から生の声を聞く機会を設けている学校もあります。

また、夏休みなどに実施している校内の学習会などに、複数の卒業生（教師を目指す高校生・大学生）を指導者として招き、在校生への学習指導を実践している学校もあり、先進的な取り組みを行っている学校の事例などを、教育委員会が先生向けに行っている研修会や会議などで、できるだけ具体的に各校に周知していきます。

4. もっと住みやすいまちに

本屋やレンタルショップ、図書館を作ります！【芝山中】

インターネットで本を購入したり、映画を観たりする人が増えたことで、本屋やレンタルショップがなくなり、内容を見て参考書を買いたいときやインターネット環境のない家庭にとって不便なので、本屋やレンタルショップを誘致したり、図書館を作りたいという提案でした。

＜市の回答＞

本屋やレンタルショップを含め、どのようなお店でも、ここにお店を作ったら継続して利益が出るかなど、様々な検証を行って出店の判断がされます。最近、本屋やレンタルショップが少なくなってきたのは、利用する人が少なくなり、利益を確保できなくなったことが大きな理由です。誘致するのであれば、「このエリアにないから」という理由だけではなく、まずは地域の人たちが積極的にお店を使うので利益を確保できると、お店の人が判断できる状態を作る必要があります。

本を読むための施設としては、図書館が市内に4か所ありますが、船橋市は市域が広く、家の近くに図書館がない方も多くいます。

そのため、市では、移動図書館車「まつかぜ号」を運行し、市内の各ステーションを月2回巡回しています。芝山中の近隣では、芝山西小学校と芝山東小学校に巡回していますので、ぜひ利用してみてください。

図書館では、インターネットコーナーを設置しており、調べものに利用することができます。学習参考書や各種試験問題集は所蔵していませんが、電子書籍サービスでは、英検や漢検などの資格・検定に関するコンテンツの閲覧・貸出ができます。

また、公民館図書室などで、図書館の本やDVDなどが予約・貸出・返却できるよう体制づくりを進めてきました。

芝山中の近隣では、平成26年に新高根公民館図書室を、令和3年9月1日に飯山満公民館図書コーナーを図書館とネットワーク化しましたので、ぜひ利用してみてください。



移動図書館「まつかぜ号」

船橋をもっとよいまちに！【法田中】

高齢者が買い物しやすい環境や、若い世代の転入を増やすための制度作り、小さい子供も安全に利用できる公園整備など、みんなが暮らしやすいまちにしたいという提案でした。

<市の回答>

高齢者が買い物をしやすい仕組みを作る

市内では、近隣にお店が無い地域に住んでいる方が日常の買い物に困らないように、自動車に様々な商品を載せて市内を巡る移動スーパーが運行されています。

現在、イオン高根木戸店、フードスクエアカスミ咲が丘店、とくし丸（ベルクフォルテ津田沼店、リブレ京成アルビス前原店、リブレ京成エポカ高根台店）と市が連携して市内を巡回しており、必要な地域への巡回に対応出来ていると考えていますが、今後も地域から移動スーパーの巡回要望があった場合には、販売ルートの見直しを検討していきます。

また、買い物に行くことができない高齢者などの代わりに買い物に行ったり、買い物に付き添ったりできる有償ボランティアを派遣する事業も行っており、今後の少子高齢化に向けて、ボランティアの募集などに努めていきます。



フードスクエアカスミ咲が丘店の移動スーパー

子育て支援金の給付や保育園の定員を増やす

子育てのしやすいまちとするために、市では様々な取組をしています。その中の一つに、子育て支援を目的とした給付金として「児童手当」があります。児童手当は、中学校卒業までの児童一人につき一定の金額を、児童を育てている保護者の方がもらえるお金です。今後も、国や県と協力して、皆さんの健やかな成長につながる事業を実施していきたいと思います。

また、市では保育所などの利用希望者が増え続けており、国が定める基準による待機児童は、平成27年に全国で2番目に多い625人となりました。このため、市では大きく2つの待機児童対策を進めてきました。1つは待機児童の多いエリアを中心に保育所などの施設整備を進めることです。もう1つは保育士1人当たりで預かることのできる児童数が決まっていることから、多くの保育士さんに船橋市で働いてもらえるようにする「保育士確保」の取り組みです。例えば、保育士さんの給料に市からの補助金（通称「ふなばし手当」）を出して給料が増えるようにしています。この結果、令和3年の待機児童は12人まで減少しています。今後も、施設の新設や保育士確保だけではなく、既存施設の活用なども合わせて、待機児童の解消に向け事業を実施していきます。

道路にベンチを作る

道路にベンチを設置するためには、設置した後の歩道の幅が2m以上とれることが必要となりますが、好ましくない使い方をされたくないなど、設置に反対の意見も多いことから、町会などからの要望があった場合、現地を調査したうえで設置しています。今後も要望があった際には、現地を調査したうえで設置していきます。

若い人と高齢者が楽しく交流できるイベントを開催します

世代を超えて地域住民が交流し親睦^{しんぼく}を深める夏祭り、運動会、お餅つきなどのイベントは、地域コミュニティの中心的な役割を担っている町会・自治会による自主的な活動の一環として実施されています。そのため、市では町会・自治会に交付金を助成し、こういった活動を支援しています。

たくさんの人が船橋市に来てもらえるイベントの一例として、「ふなばし市民まつり」や「ふなばし朝市」を開催し、市ホームページや広報ふなばしで周知しています。ばか面踊り^{ひろう}は、日頃からばか面保存会や愛好者が継承や広める活動を行っており、ふなばし市民まつりでも披露^{ひろう}されています。

また、「ふなばし朝市」は、船橋大神宮を主な会場として様々な船橋産品を販売しているだけでなく、子供でも楽しめるようコリントゲームや折り紙、ベーゴマで遊べる「ゲームコーナー」を設け、世代を超えて楽しめる場となるよう、船橋市観光協会と市が協力して開催しています。

毎年、船橋アリーナで開催している「千人の音楽祭」では、世代・音楽ジャンルを超えてたくさんの方がイベントに参加しています。特に、最近では、小中学生・大人が合同でステージを持っている市民合唱団の参加者には、子供たちと一緒に演奏することに喜びを感じている方も多いと聞いています。

そのほか、公民館では文化祭やこどもまつりなどの事業を開催し、子供から高齢者まで幅広い世代間交流を図っています。開催に伴う周知活動としては、地域の方々へのチラシ配布を中心にっており、今後はホームページとSNSの積極的な活用を行っていきます。

また、市内の文化団体とともに開催している、写真展・いけばな展といった展覧会や日舞祭^{にちぶさい}・合唱祭といった公演事業にも、子供から高齢者まで幅広い年代の方の参加があり、文化・芸術を通じて交流をしています。

小さい子供も安全に利用できる公園にします

過去の「こども未来会議室」の提案を受けて、今ある公園などで皆さんが安心して、安全に利用できるように一定のルールを作り、ボール遊びができる施設を20の中学校区に設定しました。

また、比較的大きな公園などについては、小さい子供にボールが当たるとケガをしてしまう恐れがあるため、利用目的に合わせたゾーニング（エリア分け）を行い、皆さんが安全に使えるよう工夫しています。

また、公園内の遊具については、職員による定期的な確認や、専門業者による点検を実施し、危険な遊具は補修などを行い、計画的に遊具を更新して安全に利用できるようにしています。

治安がよいと言われる市を目指します！【古和釜中】

治安が悪い街の特徴として、落書きがある、ごみが落ちている、公園などにトイレが少ない、犯罪が多いなどがあげられます。船橋市はごみが落ちていたり犯罪が多いなど、治安が良いとは言えません。市民全員が治安について考えるため、市長ができること（警察官の見回りを増やしたり、定期的にアンケートを行う）、市民ができること（手作りポスターを作ったり、地域交流を盛んにする）をそれぞれ行い、犯罪を未然に防ぎたいという提案でした。

＜市の回答＞

ごみのポイ捨て

市では、令和３年７月１日より「船橋市路上喫煙及びポイ捨て防止条例」に基づき、重点区域内（ＪＲ船橋駅・西船橋駅・津田沼駅北口周辺地区）の公共の場所で、路上喫煙やポイ捨ての違反行為を行った者に対して、その場で過料（２,０００円）を科すこととしています。

また、船橋駅、西船橋駅、津田沼駅などの主要駅周辺に違反行為を警告する路面シートを貼付したり、平日の日中を中心に朝夕の時間帯や土日も含めたパトロールを実施しています。

今後もこのような対策を続けて、違反行為をしない意識を皆さんに持ってほしいと考えています。



違反行為を警告する
路面シート

公衆トイレ

市では、公衆トイレを船橋駅北口や海老川沿いなどに４か所設置しているほか、民間施設のご協力を得て設置している「ふなばし市民トイレ」が、西船橋駅北口と京成船橋駅にあります。

気持ちよく使ってもらえるよう日々清掃が行われておりますが、一人ひとりが清潔にお使い頂くことで保たれますので、皆さんもご協力をお願いします。

市民アンケート

市で行っている「市民意識調査」や「市政モニターアンケート」では、これまで、あまり治安についての質問はありませんでしたが、提案にある治安に関するアンケートを行うことで、皆さんが普段生活している中で、どのようなことに不安を感じるのかを把握できると思いますので、今回の提案を受け、治安についての質問を検討していきます。

公園の緑地化を推進します！【宮本中】

スマートフォン、ゲーム、PCなどの普及により、子供が公園で遊ぶ時間が減少しているため、芝生の公園を整備したり、「緑と花のジャンボ市」のようなイベントで緑に触れ合う機会を増やしたいという提案でした。

<市の回答>

公園は、子供の遊びやスポーツなどのレクリエーションの場として市民の暮らしを豊かにする役割を果たしています。船橋市では緑の基本計画を策定し、市民一人あたりの公園面積 5 m²を目指し、公園の整備を進めています。

参考までに、一人あたりの公園面積の現状は千葉県全体で 7.1 m²（令和元年度末）、船橋市は 3.37 m²（令和2年度末）です。公園を整備する際は、公園の規模や利用形態によっては芝生を植えて緑の多い公園にしており、例えば、大穴近隣公園の多目的広場やグランオアシス北公園、行田3丁目公園などに芝生広場があります。ただ、利用者の多い公園では踏まれたりすることにより芝生が育たなくなったり、水やりや芝刈りが必要であるなど、芝生に寝そべってもらうためにはメンテナンスも大変ですが、今後も整備や維持管理を継続していきたいと考えています。

また、毎年、春と秋に天沼弁天池公園^{あまぬまべんてんいけ}で開催している緑と花のジャンボ市に、より多くの方にご来園してもらえるように、さらに広報活動を工夫していきます。



大穴近隣公園の多目的広場



緑と花のジャンボ市

環境にやさしく「船橋PR大作戦」！～レジ袋はもう古い～【八木か谷中】

環境にやさしい船橋市にするために、住み続けられるまちにしていこうために考えた4つの作戦

作戦1：レジ袋の使用削減のために、中学生がデザインしたエコバッグを作成・販売する。

作戦2：エコバッグ使用推進のためのポイントカードを作る。

作戦3：船橋市のPRのために、ホンビノス貝の形をした缶バッジを作る。

作戦4：エコバッグ使用推進のためのポスターを作る。

これらの作戦を実行したいという提案でした。

<市の回答>

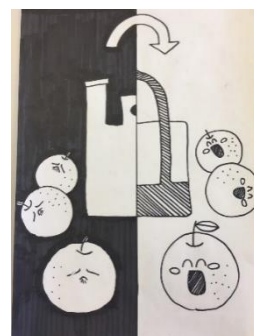
レジ袋を削減することは、海洋プラスチックごみ問題や地球温暖化の対策につながります。

八木か谷中の皆さんが描いてくれたエコバッグやポスターは、とても素敵なデザインで、このようなエコバッグがあれば日頃から持ち歩いて使う意識も高まると思いますし、エコバッグ普及促進につながっていくように思います。市でも、ふなばし環境フェアなどのイベントで自分好みのエコバッグを自分で作る体験コーナーを開き、好評でしたので、今後も引き続き実施予定です。

一方で、レジ袋を使わない人の割合が8割を超えていると言われており、エコバッグを使うことが定着してきていると考えられます。すでにエコバックは様々な商品が十分に流通していると思いますので、市で新たなエコバックを作成し、配布、または販売することは考えていませんが、まだエコバックを使っていない人に向けて、エコバックを使おうという、きっかけづくりは必要であると考えています。

そうしたことから、ポイントカードやポスター、缶バッジ（丸型のみ対応）などを活用して、レジ袋削減やエコバッグの使用をさらに推進していくには、商店会などのお店の関わりが必要なため、学校、お店、市の協働でエコバック啓発活動ができないか、商業関係者のご意見も伺いながら、エコバッグを使うきっかけづくりとして効果的な取組みについて検討していきます。

八木か谷中が作成した
ポスター



船橋を照らす光と社会を動かすみんなのために！【前原中】

1つ目に、市役所に行く時間がない方や体力的にきついという方のため、新型コロナウイルス感染症対策として市役所内の密を避けるために、移動式の市役所「市役“車”」を整備します。

2つ目に、最近は手持ち花火ができる場所がなく、家の近くではご近所トラブルになってしまうため、日本の文化の一つである花火に触れる機会が減っています。手持ち花火が自由にできる施設を作りたいという提案でした。

<市の回答>

市役“車”を作ります

「市役車」という考えは、過去に出張所に勤務する若手職員のグループでも研究した経緯があり共感しています。当時は、開設場所や時間、ネットワーク回線の敷設方法や情報セキュリティの確保など様々な課題があり、残念ながら実現には至りませんでした。

その後、マイナンバーカードを利用して身近なコンビニで住民票などの証明書が取得できるようになりました。

さらに、コロナ禍における新しい生活様式の導入のため、スマートフォンやパソコンを使って、いつでもどこでも申請や届出ができるオンライン申請の充実に向けた事務改善を進めています。

また、スマートフォンを使いこなせないといった悩みを解消するために、12の公民館でスマートフォンに関する”ちょっとした”質問にお答えする「スマホコンシェルジュサービス」を開始し、スマートフォンに買い替えた高齢者などから好評をいただいています。

皆さんからの意見を参考に、どなたでも便利に利用できる市役所窓口のあり方、スマートフォンやパソコンなどが苦手な方にも平等に利用しやすい方法を引き続き研究していきます。

手持ち花火ができる施設を作ります

道路での花火は法令では禁止になっていませんが、煙や声など、近隣の方への迷惑とならないように十分配慮する必要がありますので、家の前や庭で花火をすることが難しいのが現実です。

また、船橋市が管理している公園や広場などでは、施設の損傷や近隣の方への迷惑となる恐れがあることから禁止しています。



マイナンバーカード

市内のWi-Fiスポットを増やします！【芝山中・千葉日本大学第一中】

船橋市を訪れる観光客の利便性向上のためにも、災害時に避難所に避難している方の情報収集のためにも、市内南部に集中しているWi-Fiスポットを学校や駅、バス停など市内各所に増設したいという提案でした。電力は、各施設に太陽光発電を設置して、災害時にも電力供給できる環境を整備します。

<市の回答>

Wi-Fiスポットの増設

これまで図書館や船橋駅前などにWi-Fiスポットを設置してきました。また、令和3年4月に全26公民館と三山市民センター、市民活動サポートセンター、勤労市民センター、市役所本庁舎（1階～3階）にWi-Fiスポットを増設しましたが、災害時の電力供給などに課題があることも確かです。

また、Wi-Fiスポットによる観光客の利便性向上が、市の魅力発信にもつながると思いますので、今後のWi-Fiスポットの増設の際には、ニーズだけではなく、設置時以外にかかる維持費や利用目的なども含めて検討していきます。

災害時の電力供給

現在、避難所が停電した際の電力供給は、各公民館に常備している非常用電源装置にて対応しますが、非常用電源装置の電力供給量の限度がありますので、状況によっては、照明・電話などへの電力供給を優先することも想定され、Wi-Fiスポットへの電力供給が出来ない可能性もあります。

太陽光発電を小中学校などの避難所となる公共施設の屋上に設置することは、設置時と維持管理に費用がかかりますが、地球温暖化対策・災害時における電力供給方法として重要ですので、国補助金や民間事業者の提案を活かした取組を検討しています。



船橋駅南口のFreeWi-Fi
案内ステッカー



宮本公民館にある非常用電源装置

5. 船橋をもっと盛り上げよう

【葛飾中】 市政にもっとSDGsを！

SDGsのことを学ぶうちに気が付いた社会課題に対し、船橋市・地元企業・学校が協働して解決する仕組みをつくりたい。まずは、公民館や図書館、保育園などに子供服回収ボックスを設置して難民の方に届けたいという提案でした。

<市の回答>

SDGsは、今後のまちづくりの方向性を示す「第3次船橋市総合計画（令和4年3月策定予定）」において、船橋市の取り組みとSDGsの17のゴールの関係性を示します。これにより、市だけではなく、企業や学校の皆さんとも認識が共有できるため、様々な人たちと協力しながら取り組むことでSDGsの達成に貢献できると考えています。

提案にありました、子供服の回収については、回収方法はどうするか、子供服以外が入っていたらどうするか、回収数が増えても協力企業は対応してもらえるのかなど、様々な課題がクリアできれば、市立保育園、公民館や図書館などの市の施設に、回収ボックスの設置・回収・送付の仕組みを整えることができると思います。また、趣旨にご賛同いただける私立保育園に対して協力を依頼することも可能と考えるため、回収に向けて調査しました。

<市の調査結果>

子供服の回収はごみの削減にもつながることから、市で調査をしましたが、難民の方へ衣類を届ける団体をいくつか確認したところ、受け入れ出来る品目が決まっており、洗濯済みであることや、下着、パジャマなどは新品であることなど寄付できる服に条件があり、寄付する前に回収された品物の選別が必要であるほか、団体までの送料と海外への輸送費の負担も必要なことが分かりました。

また、難民の方へ衣類を寄付する活動をされているある企業にお話を伺ったところ、そのメーカー製品のみを回収し寄付する仕組みで、仮に市の施設に回収ボックスを設置した場合、市が他社製品を選別し処分することと、企業までの送料が必要であるとのことでした。

以上のことから、子供服の回収ボックスを設置して難民の方に届けるには、少なくない手間とコストが必要となるため、それをだれが負担するのが大きな課題となります。

市では現在、不要となった衣類は有価物回収協同組合という団体が有価物として回収し売却することで、コストをあまりかけずに再利用および処理できています。

今後も、資源の有効活用やごみの削減に向けた取り組みを行っていきます。



みんなは知ってる？～船橋のおいしい食材～【御滝中】

船橋市のおいしい食材をもっと知ってもらい、食品に対する意識を高めるために考えた2つの作戦

●船橋の特産物のPR作戦！

- 1：サンセットマーケットのようなイベントを中学校で開催する
- 2：SNSを活用してイベントを周知する
- 3：「船橋かるた」を作る

●船橋の食品ロス解消作戦！

- 1：給食でハートや花の形をした食材を使ったり、生徒が献立を考える
- 2：傷物をスーパーで販売してもらう

これらの作戦を実行したいという提案でした。

御滝中が作製した
船橋かるた



<市の回答>

船橋の特産物のPR作戦！

新型コロナウイルス感染症の影響による飲食店や、飲食店に食材を卸す生産者への支援の一環として、令和3年4月から7月にかけて市役所を会場として開催したサンセットマーケットやイブニングマーケットは大変好評で、たくさんの利用がありました。これからも多くの方に利用してもらうためには、サンセットマーケットやイブニングマーケットを開催していることを知ってもらわなくてはならないため、広報紙やSNSを活用して周知を図りました。学校での開催には、施設利用や運営の課題もあり、すぐに実施することは難しいかもしれませんが、今後、市内の様々な場所で開催し、皆様が楽しめるような企画を検討していきます。

授業でかるたを作成することは、作成にかかる時間を考えると難しいと思いますが、例えば、「給食川柳」というものを取り組んでいる学校があります。気軽に取り組めるうに、「船橋の特産品」や「食品ロス」など、皆さんにとって関心の高い題材をお題に作成してみるとおもしろいものができるのではないのでしょうか。

船橋の食品ロス解消作戦！

中学生が考えた献立は、既に各校で実施していますが、生徒の主体的な活動として取り組むことで、栄養や食品ロスなどの学習につながり、高い効果が得られると考えられます。生徒会活動などで皆さんの学校で提案すれば、各校にいる栄養職員が栄養価や調理方法など含め、相談にのりながら、一緒に献立を考えることができますので、ぜひ相談してみてください。

傷物の販売については、にんじんなどで規格外のものは、B級品として市場に出荷しています。また、廃棄になる梨も、梨農家が独自にパン屋など他の業種と交流して、おいしい総菜パンに加工するなどの取組を行っています。さらに、一部の農家では、規格外の野菜や梨のネット販売を行っています。今後は、市のホームページや広報ふなばしなどで、このような取り組みをしていることをPRして、皆さんに食品ロスについて考えてもらう機会を作っていきます。



サンセットマーケットの様子

地産地消（千産千消）を推進し、特産物をPRします！【法田中・行田中・船橋中】

船橋ブランドの「船橋にんじん」や「ふなばしの梨」などの地産地消（千産千消）を推進するために、定期市を千葉県全体で開催したり、農産物直売所を作りたい。また、中学生がPR方法を考えたり、特産物の調理例を紹介したり、船橋産の食材を使った給食の日を増やしたいという提案でした。

梨ジュースが出る蛇口を作りたいなっしー！

<市の回答>

地産地消（千産千消）

市内には、市の特産物を販売しているスーパーがいくつもありますが、中でも、地元の農家さんが採れたての野菜を直接売り場に持ち込み、販売する「ふなっこ畑」という農産物直売所が行田中学校の近くにあります。

今回の特産物や地産地消コーナーを増やすという提案を、ふなっこ畑を運営するJA（農業協同組合）に話してみます。ふなっこ畑は、野菜以外にも、肉、卵、米、花など、市内の特産物が数多く販売されていますので、皆さんもぜひ行ってみてください。



ほかにも、市内には野菜や果物、花や魚介類など150か所以上の直売所があります。市では、それらを扱っている直売所マップを作成しており、市役所農水産課で配布しているほか、市ホームページに載せていますので、ぜひご覧になって、直売所を訪れてみてください。

特産物を使ったレシピ

市の特産物を使ったレシピは、JA や漁業協同組合のリーフレットに載っています。また、過去に市でもレシピを作成したこともあります。これらのレシピは、市が行っているPRイベントや農水産祭でも配布しています。しかし、皆さんにお知らせすることが十分できているとは言えないため、市のホームページに載せるなど、周知への取り組みを進めていきます。

また、現在、JA が運営する梨選果場^{せんかじょう}という梨の直売所が豊富地区にあります。もし、豊富地区にスポーツ広場の設置が実現したら、広場にも常設の梨の直売所を設置できるかをJA と相談してみます。

梨ジュースの出る水道に関して、スポーツ広場の設置が実現したら、JA が作った梨ジュースがあるので、それを水道から出すのにかかる費用対効果を検証します。

給食では毎月「船橋産の食材を食べて知る日」を設けて、船橋産の特産物を積極的に取り入れています。令和4年度からも収穫の時期や量を見直しながら、より一層給食での使用を進めていく予定です。



市の特産物を使ったレシピ



豊富地区にある梨選果場



ふなっこ畑

千葉ジェッツふなばしやふなっしーとコラボして船橋を盛り上げます！【行田中】

千葉ジェッツふなばしとコラボした広場やアンテナショップ、カフェをつくり、たくさんの人に千葉ジェッツふなばしを知ってもらいたい！また、全国的に有名なふなっしーに協力してもらい、船橋を盛り上げたい！という提案でした。カフェの建設場所は、空き家や団地を再・開・発！

<市の回答>

今回の提案を実現するためには「千葉ジェッツふなばし」や「ふなっしー」に魅力ある計画をアピールして、賛同してもらわなければなりません。そこで、提案内容を基に千葉ジェッツふなばしと協議をし、アンテナショップについて回答をいただきました。

<千葉ジェッツふなばしからの回答>

皆さん、千葉ジェッツふなばしを応援してくれてありがとうございます！皆さんが提案してくれた新たなアンテナショップの設置については、小売企業、商業施設、船橋市観光協会や船橋駅前のセブンイレブンにある観光案内所など、市内には多くの施設がありますので、そういったお店や施設の協力のもと、グッズ販売ができればと思っています。

また、千葉ジェッツふなばしは地産地消を促進する活動もしており、その取り組みの一つとしてジェッツがプロデュースしたビアカフェ「THE OFF COURT」を、令和3年12月8日、船橋駅北口に開店しました。このお店では、千葉で生産した野菜や海産物をはじめとする食材を使った料理や選手とのコラボメニューのほか、地ビールや「RUDDER COFFEE」と連携したドリンクを提供し、パブリックビューイングなどを楽しんでもらえます。

皆さんもぜひ、お店に足を運んでみてください！

また、ふなっしーにも提案を伝えたところ、ふなっしーからメッセージをいただきました。

<ふなっしーからのメッセージ>

いつも応援してくれてありがとなっしー♪

梨の妖精界から船橋に降臨して10年がたったなっしー！

船橋は都心に近くて、海があって緑も豊かな魅力あふれる街で、ふなっしーも大好きなっしー！

これからも「船橋発日本を元気に！世界中を笑顔に！」をテーマに頑張っていくなっしーよ～！

みんなもふなっしーと一緒に、船橋が優しい笑顔であふれる素敵な街になるようにがんばるなっしー！

感謝！感激！梨汁フシャー！



©ふなっしー

千葉ジェッツふなばしからの回答や、ふなっしーからのメッセージを踏まえて、コラボした事業を実施できるか検討していきます。千葉ジェッツふなばしのほかにも、ジャパンラグビートップリーグのクボタスパークスが活躍しています。チーム名を「クボタスパークス船橋・東京ベイ」に変更し、更なる活躍が期待されていますので、皆さんも応援してくださいね。

なお、ジェットカフェなど広場を使ったPRについては、今後市内にスポーツ広場を開設する際に千葉ジェットふなばしと相談していきます。

市のPRという点では、(皆さん知らないかもしれませんが) 東京オリンピック・パラリンピック開会式のピクトグラムに似ていると話題になった、スポーツ健康都市宣言シンボルキャラクター「汗一平と風さやか」、ふなばしセレクションPRキャラクター「目利き番頭 船えもん」、地球温暖化防止キャラクター「ふなわりくん」、ごみ減量啓発キャラクター「リサちゃん、リデュくん、リユちゃん」をはじめ、様々なPRキャラクターが活躍しています。

これらのキャラクターがコラボしたユニークな企画が提案できれば、思い出の一コマを飾るだけでなく、市や、市が取り組む事業を広くPRすることにもつながると思います。



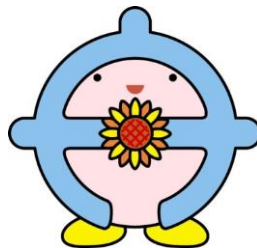
汗一平



風さやか



目利き番頭 船えもん



ふなわりくん

リサちゃん



リデュくん



リユちゃん

千葉ジェットふなばし
Bリーグ 2020-21 シーズン **優勝!**



©CHIBAJETS FUNABASHI/PHOTO:Keisuke Aoyagi



【新春特別対談 ふなっしーと市長】ふなばしCITYNEWS令和4年1月1日放送

ふなばしCITYNEWSでの、市長とふなっしーの対談の様子をぜひご覧ください!

https://www.city.funabashi.lg.jp/movie/citynews/0107_19/p099745.html



規格外野菜を有効活用します！【三田中】

傷がある、曲がっている、色が薄いなどの理由で市場に出せない“規格外野菜”は、全体の3～4割！フードロスの原因となっているこの問題を解決するために、Ajisai Project（**味**は良いから食べ**野菜**）や、おもしろ野菜コンテスト（ベジリンピック）を実施したいという提案でした。

<市の回答>

規格外の野菜に関しては、現在一部をB級品として市場に出荷しているものもありますが、規格外野菜に特化したイベントとなると、市では「船橋にんじん」や「船橋のなし」など、船橋産野菜のブランド化を進めていることから、そのようなイベントを実施することは今の段階では難しいです。

提案にあるAjisai Projectについては、おもしろい試みだと思うので、ぜひ中学校でのイベントとして実施してもらえれば、市もできる範囲で協力していきたいと思っています。おもしろ野菜コンテスト（ベジリンピック）については、農家さんの負担を考えると、継続的な実施は難しいですが、今後農産物のPRイベントの中で実施可能か、農家さんとも相談したうえで対応を考えていきたいと思っています。

三田中が考案した
アジサイプロジェクト



給食フェアを開催します！【坪井中】

中学生のアイデアを取り入れた新しい給食メニューを市民の方に食べ比べしてもらう“給食フェア”を開催したいという提案でした。給食メニューは1品100円で販売し、使われない事が多いにんじんの葉を使い、ふりかけや天ぷらにするなどして食品ロスを減らします。懐かしい味で、みんながワクワクするような体験を！

<市の回答>

市では長年「学校給食展」を実施し、多くの保護者や市民の方に船橋の学校給食を知ってもらう取り組みをしてきました。約25年前までは、実際に来場者へ給食の試食をしてもらうコーナーもあり、大変好評でした。しかし平成8年に他県で大きな食中毒事故が発生してからは、学校給食展で給食メニューを提供することはできなくなりました。提案のような“給食フェア”は、衛生面やコスト面で実現は難しいかもしれませんが、例えば「市民へアピールすること」を目的に、学校給食の献立をもとにしたメニューを一般の食堂などで提供することはできるかもしれません。（実際に市役所の食堂で提供したことがあります。）また、生徒から食品ロスをテーマにしたメニューを募集したコンテストを開催し、市内の全小中特別支援学校で実施するような試みはいかがでしょうか。きっと給食や食品ロスへの関心が高まると思います。みなさんも一緒に「ワクワクするような給食」を作っていきましょう！

船橋市案内アプリを作ります！【旭中】

渋滞の多い市内の渋滞解消機能や、クイズ形式で船橋市を紹介する機能を搭載したアプリを作りたいという提案でした。

<市の回答>

渋滞対策

市内の渋滞を解消するために、新しい道路を造ったり、現在の道路を拡げるなど対策を行っていますが、完成するまでは長い時間や多額の費用がかかります。そこで市では、効率的かつ効果的に対策を行うため交通ビッグデータ（※）を活用して市内の道路状況を見える化しました。これにより、市内の道路の渋滞箇所が見える化できた一方で、渋滞を避ける車が生活道路に入り込んでいることもわかってきました。

生活道路は地域の方々が日頃利用されている道路でありますので、交通量が増えると交通事故の増加につながる恐れがあります。このことから今後も渋滞緩和に向けて様々な取り組みを続けていきます。

（※）交通ビッグデータ・・・車両の速度や経路などの走行履歴から渋滞箇所など道路の課題を定量的に分析することができるデータ

船橋市案内アプリ

船橋市を案内するアプリを作る際には、渋滞を避ける案内と地域住民の生活環境を守ることの両面から検討をする必要があると考えています。

現在、市内を案内するアプリはありませんが、市公式アプリでは、スタンプラリー機能やアンケート機能がありますので、ご提案の内容については実現可能と思われます。クイズの作成や、どのようなアプリにするかアイデア出しなど、一緒に面白くて役立つものを考えていきましょう！

ふなっぷアプリの紹介

Funapp ～船橋市公式アプリ～

船橋市公式アプリ「ふなっぷ」を配信しています。
船橋市公式ホームページ (funabashi.lg.jp)

防災、子育て、観光などの情報を一つにまとめ、知りたい情報の分類を選択することで必要な情報をプッシュ通知で受け取ることができるアプリです。
この他に、市で配信しているごみ分別アプリ「さんあーる」や子育て支援アプリ「ふなっこアプリ」、健康アプリ「ふなばし健康ポイント」を利用することで生活に必要な情報をすぐ集めることができます。

QRコードからダウンロード

App Store からダウンロード

Google Play で手に入れよう

検索してダウンロード
App Store または Google Play で **ふなっぷ** 検索

問い合わせ先 市役所 情報システム課 TEL: 047-436-2072

～船橋市公式アプリ～

Funapp

楽しさ、アツさ、ふなっぷ

あなたの生活に
寄り添うアプリ
ステキな機能が
盛りだくさん!

ふなばし市役所の様々な申請がスマホでできる!

なっとういただけるサービスを
目指して成長する!

ふっしゅ通知であなたに
必要な情報をお知らせ!

無料

ふなっぷ

お知らせ

- 10/15 子宮頸がん予防 (HPV) ワ...
- 10/6 『おくやみコーナー窓口のご...
- 9/1 マイナンバーをお知らせして...

申請・届出

サービスリンク

オンライン申請

おすすめアプリ

※画面は開発中のものにつき、実際の仕様とは異なる場合があります。

市民が誇れる、住み続けたいまちにします！【高根中】

カラフルにんじんなどの新しい特産物を作ったり、気軽に特産物を買える自動販売機を設置したり、コンポストを学校に設置して給食の残飯を有効活用したい。また、市内に約200か所ある遺跡、特に令和3年6月に国指定遺跡となった取掛西貝塚^{とりかけにしがいづか}をもっとPRしたいという提案でした。

<市の回答>

新しい特産物を作る

市では、「船橋市農業センター」（野菜や果樹などの栽培試験を行っている研究施設）において、様々な種類のにんじんの栽培試験を実施しています。市の新しい特産品の提案として、非常に面白いとは思いますが、実は農業センターでは過去に黄色や濃紅色といったカラフルなにんじんの栽培試験も行ったことがありました。しかし、市場性や品質、生産者の意見など総合的に判断した結果、現段階では特産品として取り組むことは困難だと判断しました。

気軽に特産物を買える自動販売機を設置

限られた数ではありますが、市内には特産物を買える自動販売機があります。西船橋の「ひらの農園」には、小松菜をはじめとする旬の野菜の自動販売機があり、湊町の「かねはち水産」の前には、ホンビノス貝の自動販売機があります。他にも、市内の特産物を加工した商品の自動販売機が、市内のいくつかの飲食店の前などにありますので、皆さんもぜひ探して購入してみてください。

コンポストの設置について

農家が使う堆肥は、1a（10m×10m）あたり200kgほど必要となります。学校で使うようなサイズのコンポストでは、それだけの量の肥料を作ることができないうえ、おいしい野菜を作るためには質の高い肥料が必要となります。そのため、肥料の量や品質の面でも課題が多くあります。

以前、市ではコンポストではなく、生ごみ処理機を三山小学校、坪井小学校、飯山満南小学校に設置し、給食から出る生ごみを肥料にしていたが、維持管理が非常に大変なうえ、利用先の確保、品質などの問題や、機械の老朽化もあって平成30年度に廃止したこともあり、現時点では学校へのコンポストの設置は難しいです。

なお、下水などを処理している市の施設で実施している、**バイオマス発電**（※）に必要なメタンガスを作るための原料の一部に、給食の残飯を利用することができないか考えています。各校での分別から処理施設までの運搬方法や、残飯を細かく粉砕する方法などの課題がありますので、引き続き検討していきます。

（※）**バイオマス発電**・・・バイオマスとは、動植物などから生まれた生物資源の総称です。

バイオマス発電は、この生物資源を「直接燃焼」したり「ガス化」するなどして発電する発電方法のことです。



コンポスト容器

歴史の魅力あふれるまちに

船橋の歴史の魅力をアピールするための手立てとして、提案のとおり、学校の授業で取掛西貝塚や市内の遺跡について積極的に取り入れることができれば、とても効果があると思います。

市では、もっとたくさんの人に船橋の遺跡について知ってもらうために、遺跡マップや取掛西貝塚を紹介するパンフレットを作成し、各校や一般市民の方に配布してきました。令和3年度は、皆さんにタブレットが一人1台配布されたのにあわせ、市内全小中学校に遺跡マップと取掛西貝塚を紹介するパンフレットやポスターのデジタル版を配布しました。

また、高根東小学校（古和田台遺跡）や七林小学校（沢之台遺跡）など学校や公園市内55か所に遺跡説明板を設置しているほか、学校への出前授業や公民館などで出前講座を実施していますが、市内の遺跡について、興味のある方以外にまだあまり知られていないのが実情です。

取掛西貝塚については、社会科副読本「わたしたちの船橋」を使って学んだり、地域学習として取り組んでいますが、学習の機会をもっと増やす必要があると思います。

そのため、今後は学校の授業で取掛西貝塚や市内の遺跡について取り上げやすいように、例えば遺跡マップをもって、近くの遺跡説明板を訪れて身近な遺跡や文化財について校外学習を行ったり、取掛西貝塚や身近な遺跡で出土した土器などの考古資料を授業で活用する工夫を学校と考えていきます。

校外学習での取掛西貝塚の見学や資料館などをつくることについてですが、実は、取掛西貝塚の大部分は市民が所有する畑や宅地であり、見学するスペースが確保できていません。取掛西貝塚をどのように保存し、活用していくかについては、これから保存活用計画を策定していく中で検討していく予定です。

見学できるように史跡を整備するにはかなりの時間がかかると思いますので、今できることとして、動画配信や講演会、飛ノ台史跡公園博物館や郷土資料館で企画展を行うなど、様々な方が取掛西貝塚を知ることができる機会を増やしていきたいと思っています。



特産物やエコレシピでフードフェスを開催します！【若松中】

傷んだ梨や普段は捨ててしまう梨の皮などを使ったエコレシピを考案したり、食べ終わった貝殻を砕いて肥料にして活用し、食品ロスを減らしたい。また、そのエコレシピを活用したフードフェスを開催したいという提案でした。

<市の回答>

食品ロス削減に向けたエコレシピは、船橋の特産物である梨やホンビノス貝が用いられており、これらは家庭で作れるレシピとしてだけでなく、船橋の新しいお土産などの商品として民間企業が取り組む可能性もあります。

また、新しい船橋らしさあふれる商品が誕生した際は、ふなばしセレクション（※）に認証されることで、様々なイベントや広報ふなばしなどで広くPRされ、催事販売などに参加することから、市の魅力を多くの方に知ってもらう機会となることが期待されます。

なお、4月から7月にかけて市役所を会場として開催したサンセットマーケットやイブニングマーケットでは、新鮮な出荷規格外の野菜や果物、また、これらを使ったドライフルーツや加工食品の販売も行われ大好評でした。

提案にある、若松中の皆さんが考案した梨の皮やマッシュルームの軸を捨てずに活用する3種類のエコレシピについては、食品ロス削減を周知する取り組みの一環として作成している、市ホームページの「食品ロス削減レシピを紹介します」に掲載させていただきました。

貝殻の有効活用については、全国的にはホタテやカキの貝殻を建設資材や土壌改良材などに活用している例がありますが、市として家庭から捨てられる貝殻を集めて肥料化することについては、経済性や利用先の確保など課題が多いことから困難であると考えています。

（※）ふなばしセレクション認証品・・・ふなばし産品ブランド協議会が市内の優良な商品を広く



募集し、厳正な審査を経て認証された商品です。

令和元年度は、10品の加工食品を認証しました。認証期間は3年間で、市では、チラシなどのPRや販売機会の提供などを通じて、ブランド化を支援しています。

若松中が考案した エコレシピ

食品ロス削減レシピを紹介します

<https://www.city.funabashi.lg.jp/kurashi/gomi/O13/p057496.html>



～アサリとホンビノス貝アヒージョ～

（材料）
殻付きホンビノス貝・・・6個
殻付きアサリ・・・約500g
マッシュルーム・・・1パック
にんにく・・・2かけ
オリーブオイル・・・150～200ml
料理酒・・・50～60ml
塩コショウ・・・適量
バセリ・・・適量

★アヒージョを配るときには、
焼きのりの上にのせる。

エコポイント
・貝殻を肥料にする
・マッシュルーム軸まで使う

～梨ジャム～

エコポイント
梨の皮をすりおろして入れる

（材料）（400g分）
梨・・・2個
（A）レモン汁・・・大さじ2
（A）グラニュー糖・・・180g
（A）はちみつ・・・大さじ1

～梨マフィン～

エコポイント
梨の皮をすりおろして入れる

（材料）
バター常温・・・60g
砂糖・・・60g
たまご・・・1個
塩・・・ひとつまみ
牛乳・・・50ml
ベーキングパウダー・・・小さじ1
小麦粉・・・100g
梨・・・1個
砂糖・・・10g

船橋の魅力再発信！【高根台中】

ふなばしアンデルセン公園や船橋三番瀬環境学習館など、市の観光施設が十分に生かされていないと感じるため、観光施設を活用したり、三番瀬のPRキャラクターをつくったり、有名アニメとのコラボイベントを実施したり、三番瀬ブランドをつくって船橋市の魅力を再発信したいという提案でした。

<市の回答>

ふなばしアンデルセン公園

ふなばしアンデルセン公園は、トリップアドバイザーの「日本の人気テーマパーク」ランキングで、平成27年に第3位に選ばれ、市内外の多くの方が来園する人気施設ですが、休日はアンデルセン公園周辺で渋滞が起きています。

渋滞対策として、市では、平成28年度より公園から約2km離れた私有地を繁忙期に臨時駐車場として借りて、無料の送迎バスを運行したり、西ゲートを中心にドッグラン施設なども臨時駐車場に対応できるよう整備し、駐車台数を増やしました。さらに、ホームページで駐車場の混雑状況をリアルタイムで発信するなどの対応をしています。

また、船橋駅、三咲駅、北習志野駅、小室駅からアンデルセン公園前へ行く路線バスがあり、西ゲート近くの路線バス停留所の名称を「アンデルセン公園西口」に変更して分かり易くするなどの工夫を行っています。路線バスで訪れる方も多いことから、今のところ直通のシャトルバスの運行は考えていませんが、来園者の利便性が向上し、楽しんでもらえる施設にするために、アクセス以外にも様々なことを検討していきます。

ふなばし三番瀬海浜公園

ふなばし三番瀬海浜公園は、潮干狩り時期以外にも、ダイヤモンド富士や野鳥を撮影する方も訪れるなど、生き物を間近で見ることができるスポットですので、公園の魅力をもっと伝えたいと考えています。

提案にある、アニメコラボイベントの実施や三番瀬のキャラクターの作成、三番瀬ブランド特産品の販売につきましては、ふなばし三番瀬海浜公園とふなばし三番瀬環境学習館は、管理や運営を民間業者に委託しているので、実現可能かどうか、その効果も含め協議していきます。



ふなばしアンデルセン公園



ふなばし三番瀬環境学習館



ふなばし三番瀬海浜公園

実現した主な提案

平成26年度に始まった「こども未来会議室」では、皆さんの先輩たちが、皆さんと同じように船橋をよくするための提案を真剣に考えてくれました。その提案は、これまでにいくつも実現しています。

ボール遊びができる公園をつくります！

公園でボール遊びがしたい！という提案から、近所の方や関係部署と話し合って遊び方のルールを決めるなど検討を重ね、現在、市内17の公園でボール遊びができるようになりました。

今後も、ボール遊びができる公園の整備を進めていきます。



「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを実施します！

時間のある夏休み期間中にボランティア体験をしたいけれど、参加方法がわからない！という提案から、ボランティアを募集している団体や福祉施設とマッチング会を行い、気軽にボランティアに参加できる「あったかほっかほか船橋」プロジェクトを行っており、毎年たくさんの方が参加しています。



街灯を増やして街を明るくします！

街灯を増やして、より安全な街にしたい！という提案から、街灯を明るいLED照明に変更したり、暗い道があれば現地の調査を行い、必要かどうかを確認して街灯の設置を行う「船橋市道路照明灯及び道路街路灯設置基準」を策定しました。

「梨フェスティバル」を開催します！

船橋のなしをもっとみんなに知ってもらいたい！という提案から、例年行われている「船橋市なし味自慢コンテスト」の名称を変更し、平成29年8月29日にらぽーとTOKYO-BAYで市制施行80周年記念「なしフェスティバル」が盛大に開催され、たくさんのお客様がいらっしゃいました！



千葉ジェッツふなばしとコラボして船橋を盛り上げます！

船橋産の梨を使った「船橋からのおもて梨まん」と、千葉ジェッツふなばしのキャプテン富樫勇樹選手の名前を盛り込み、船橋産のにんじんを使用した「勇樹ヤロットまん」を開発。令和3年3月24日のジェッツのホームゲームで300セットを限定販売し、大好評となりました！



中学校を今よりグローバルな場にします！

日本語に不安を抱えている外国人のクラスメイトが、学校生活での不安を解消したり、生徒同士のコミュニケーションツールとして、日本語指導が必要な生徒が在籍している市内22中学校に、74言語に対応した音声翻訳機（ポケットーク）を導入しました。



ポケットーク



本番の様子

第1回



第2回



第3回



第4回



中学2年生の皆さん、素晴らしい提案をありがとうございました！
中学生ならではの斬新な提案ばかりで、新しい発見がたくさんありました！
皆さんが真剣に考えてくれた提案をもとに、船橋市がより住みやすいまちになるよう、これからも全力で取り組んでいきます！

こども未来会議室プロジェクト



参加してくれて
ありがとう！！！！

令和三年度こども未来会議室報告書

編集：こども未来会議室プロジェクト
事務局：船橋市役所 市長公室 市民の声を聞く課
発行年月日：令和4年2月